

今後のICT利活用推進方策(案) 検討資料

平成19年1月29日

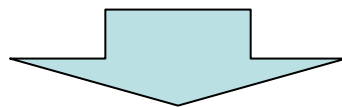
豊かな地域社会を目指す

ICT利活用推進に関する調査研究会

総務省 北陸総合通信局

ICT利活用推進方策のポイント

- 情報と情報が相互に連携
- 地域協働による地域社会のまちづくり
- 誰もが同様に情報を共有



北陸地域共通の ICT利活用プラットフォーム(地域協働技術基盤)の実現

1. システムとシステムが連携し、データを補完し合う仕組みづくり
2. 地域協働による情報収集の仕組みづくり
3. 必要な情報を、必要な人に、求める形式で配信する仕組みづくり

北陸地域におけるICT利活用推進イメージ

システムとシステムが連携し、
データを補完し合う仕組みづくり

- ・地域協働技術基盤の構築
インフラおよびハードウェア整備
ミドルウェア調達
ソフトウェア調達

地域協働による
情報収集の仕組みづくり

- ・利用者参加型の仕組みづくり
- ・行政、地域住民、企業等のコラボレーション

必要な情報を、必要な人に、
求める形式で配信する
仕組みづくり

- ・誰もが使いやすいインターフェース
- ・トランスコーディング技術(マルチコンテンツ利用技術)
- ・ユニバーサルデザイン

システムとシステムが連携し、データを補完し合う仕組みづくり

地域協働技術基盤

Web(WebサービスやXMLなどの)技術を活用して情報システムの基盤を共通化することで、異なる情報システム間でのシームレスなデータのやり取りを実現し、行政・民間を問わず地域の様々なサービスを連携・統合して提供する。

フェーズ 1

【インフラおよびハードウェア整備】

- ・ブロードバンドネットワーク利用環境整備
- ・放送のデジタル化
- ・ケーブルテレビの普及促進と高度化

フェーズ 2

【ミドルウェア調達】(Webサービスによる情報システムの共通化)

- ・サービス指向アーキテクチャ:SOA(Service Oriented Architecture)
- ・「Webサービス」の活用
- ・SOAP(Simple Object Access Protocol)

フェーズ 3

【ソフトウェア調達】(手続きの統合・共通化)

- ・Web技術を用いて一体的に統合、業務全体を最適化
- ・業務アプリケーション仕様統一、データ統合
- ・アプリケーションのASP化、Web2.0化
- ・共同アウトソーシングによるコストの削減、業務の効率化

地域協働による情報収集の仕組みづくり

地域協働

- ・地域の連携・協働の推進(行政、地域住民、企業等のコラボレーション)
- ・利用者参加型のコンテンツ作りを推進し、生活に密着した地域コンテンツを幅広く提供
- ・住民参加による新しいコミュニティの形成

必要な情報を、必要な人に、求める形式で配信する仕組みづくり

誰もが使いやすいインターフェースの実装

- ・誰もが使いやすいインターフェースを実装したICT利活用環境を構築
- ・RSS等のコンテンツ配信技術により効率的に最新情報を公開
- ・トランスコーディング技術(マルチコンテンツ利用技術)の導入
- ・ユニバーサルデザイン

北陸地域におけるICT利活用推進モデル

